

おおぞみ



広報 No.192

KOHO OGIMI 2011年 3月号



大宜味

「健康長寿の
いきいき輝く
文化の村」

大宜味の石灰岩の森に咲くヤブツバキ

撮影場所:チキガンドウ

「結の浜」一部供用開始

村営結の浜団地完成

住宅事情の緩和と過疎化対策（若者等の村内定着促進）を目的に、平成21年度から整備を進めてきました村営結の浜団地が1月14日に完成し、2月より入居が開始されています。

結の浜団地は村内11番目となる団地で、沖縄北部特別振興対策事業として整備が進められました。構造は、鉄筋コンクリート造2階建て2棟（全20世帯）となっています。



2月より入居が開始された結の浜団地

大宜味浄化センター及び「村道結の浜線」一部供用開始

塩屋湾外海埋立地区（結の浜）で整備が進められてきた大宜味村大宜味浄化センターが完成し、供用が開始されました。

当センターは、安全で快適な生活環境の改善と公共用水域の保全を目的として整備され、処理システムとして県内で初の導入となる膜分離活性汚泥法を採用しており、高度処理が期待されます。

また、「村道安根塩屋線」が「村道結の浜線」に変更となり一部供用が開始されています。



県内初の処理システムが整備された大宜味浄化センター



一部供用が開始された村道結の浜線

ネットで特産品販売

地場産業後押し

国からの交付金事業を村で導入し、押川区をモデル地域としたICT活用事業が2月2日からスタートしました。本事業では①農業人材育成プログラム②流通総合システム③機器導入を整備し、押川シークワサー生産組合を対象に、パソコン利用者講習を通して、生産者自らがネット内に構築した流通システムを利用して生産物の販売を目指します。



利用者講習会の様子

大宜味村シークワサー 振興補助金のお知らせ

大宜味村では、大宜味村シークワサー振興補助金交付規程により、大宜味村内のシークワサー生産農家を対象に、シークワサーの生産振興を目的とした、青果物（酢の物用・加工用）と生果物（フルーツ用）の出荷量に応じた①生産奨励金と②防除薬剤補助金を予算の範囲内で補助します。補助金の申請期間は、3月7日（月）～3月25日（金）までです。申請には、申請書と添付書類として出荷先企業の出荷証明書等が必要で、詳しくは、大宜味村シークワサー振興室までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ

シークワサー振興室（0980044-3048）

大保ダム試験湛水終了

試験湛水を実施していた大保ダムで2月3日、貯水位が最低水位（標高23・0m）に達しました。大保ダムでは、平成21年4月22日に試験湛水を開始し、平成22年6月9日には最高水位（標高70・6m）に到達して、その後放水していました。

試験湛水とは、ダムに試験的に水を貯め、ダムの貯水位を最低水位から最高水位の範囲内で、上昇及び下降させ、ダム本体の安全性、貯水池周辺地山の安全性を確認するために行われるものです。

今回、ダム堤体の異常や貯水池周辺で問題となるような地形の変化は確認されず、約2年近くに及んだ試験湛水が完了となりました。今後は、水位を回復させ、平成23年4月からは供用開始が予定されており、



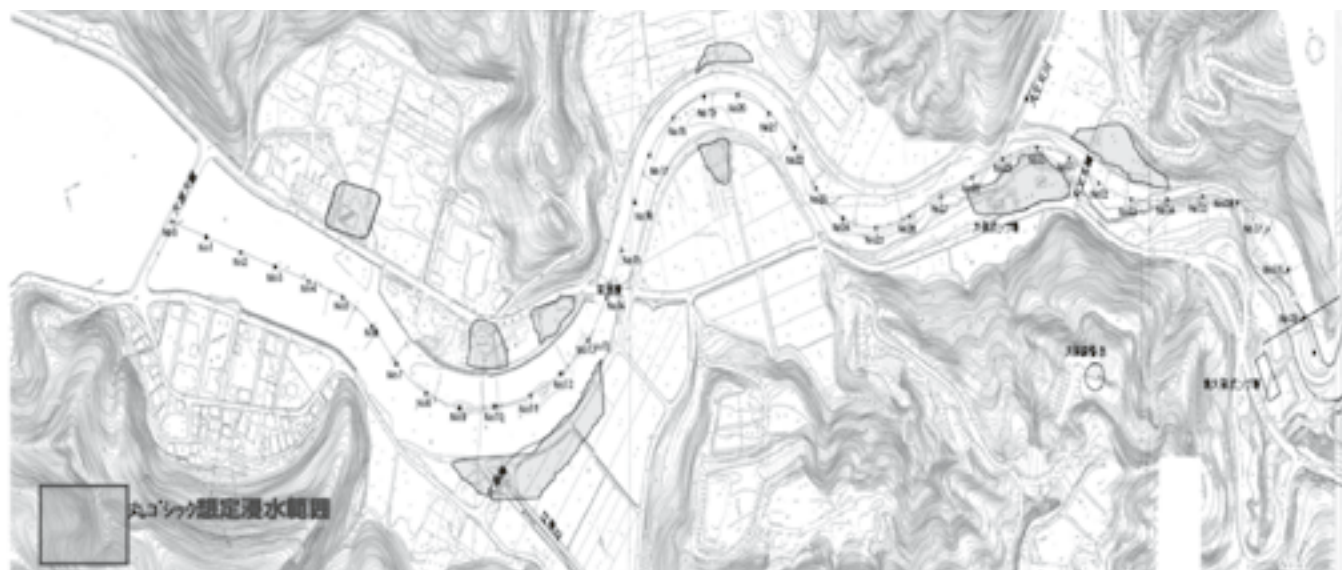
最低水位に達した大保ダム

大保ダムの効果について

**大保ダムの洪水調節効果により、
河川からの越水を防ぎました!!**

平成22年10月19日に、大保ダムにおいて累計153mmの降雨があり、大保ダムへ通常流入量の約300倍になる約140m³/sの流入がありました。

もし、その時ダムがなかったら、幾つかの箇所で護岸を越えて浸水する可能性があります。



問い合わせ先

沖縄総合事務局 北部ダム事務所 調査設計第二課 Tel 0980-52-3872 Fax 0980-52-1366



村職員の給与状況

地方公務員の給与については、国家公務員の給与を基準として、村議会において予算及び給与条例の審議により定めることになっていますが、村民の皆様にご理解とご協力をいただくためその内容をお知らせ致します。

※沖縄県とは県職員のことです。

1.人件費の状況(一般会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (3月末)	歳出額 (千円)	実質収支 (千円)	人件費 (千円)	人件費率 (%)	前年度人件費率 (%)
平成21年度	3,363人	3,330.498	79,553	612,847	18.4	18.69

※人件費には、議員報酬、各種委員報酬、特別職給与、職員給与、共済組合等負担金、退職金、恩給、災害補償費等が含まれています。

2.職員給与費の状況(一般会計)

平成21年度決算における人件費のうち給与費は次の通りです。

区分	給与費	給与費				1人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計	
平成21年度	76人	251,175円	26,190円	94,557円	371,922円	4,893千円

3.職員の平均給料月額及び平均年齢の状況(平成22年4月1日現在)

	一般行政職		現業職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
大宜味村	297,800円	40歳8月	270,900円	44歳3月
沖縄県	358,314円	41歳11月	374,174円	50歳1月



4.職員の初任給の状況(平成22年4月1日現在)

区分		大宜味村	沖縄県
		初任給(円)	初任給(円)
一般行政職	大学卒	172,200	172,200
	高校卒	140,100	140,100
医療職	大学卒	201,100	201,100
現業職	高校卒	137,200	137,200

5.特別職の報酬等状況(平成22年4月1日現在)

区分		月額	期末手当支給割合
給料	村長	720,000円	6月1.45月分
	副村長	584,000円	12月1.65月分
	教育長	548,000円	(計)3.10月分
報酬	議長	263,000円	6月1.45月分
	副議長	218,000円	12月1.65月分
	常任委員長	211,000円	(計)3.1月分
	議員	203,000円	

※沖縄県の初任給は特例減額措置を受ける前の額です。

6. 期末・勤勉手当の状況 (平成22年4月1日現在)

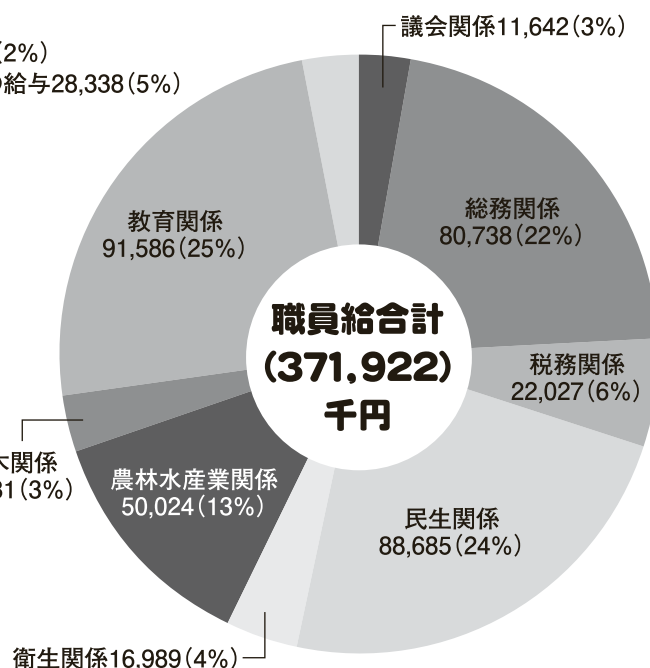
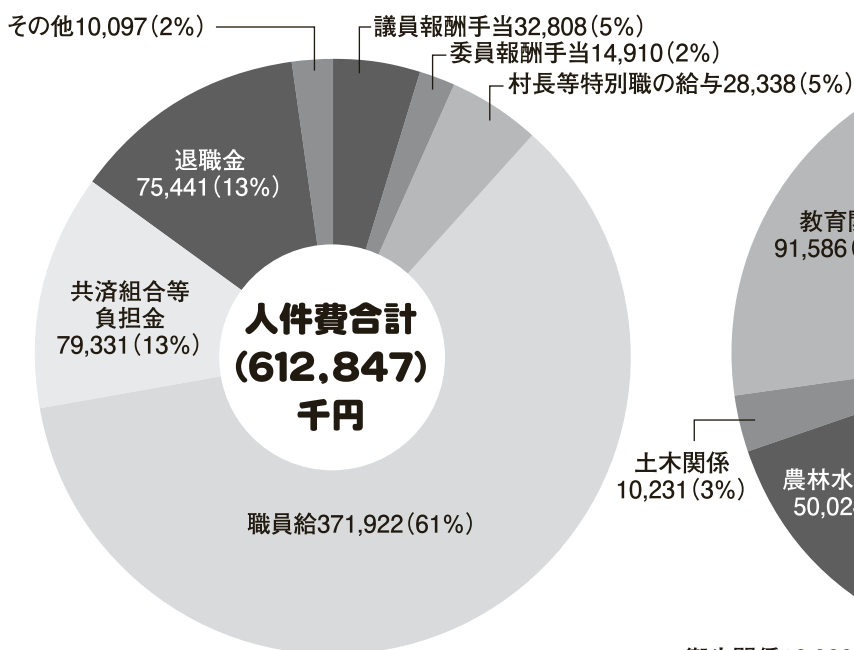
区分	大宜味村			沖縄県		
	期末手当	勤勉手当	計	期末手当	勤勉手当	計
6月期	1.25月分	0.70月分	1.95月分	1.25月分	0.70月分	1.95月分
12月期	1.5月分	0.70月分	2.2月分	1.5月分	0.70月分	2.2月分
計	2.75月分	1.4月分	4.15月分	2.75月分	1.4月分	4.15月分

7. 特別職員数 (平成22年4月1日現在)

一般行政職			医療職			現業職		
級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)	構成比 (%)
1	13	20.3	1			1		
2	10	15.6	2	1	50	2		
3	8	12.5	3	1	50	3	4	100
4	22	34.4	4			4		
5	3	4.7				5		
6	8	12.5						
計	64	100.0	計	2	100.0	計	4	100.0

8. 部門別一般職員数の状況と主な増減理由 (平成22年4月1日現在)

区分 部門	職員数		対前年 増減数	主な増減理由	
	平成21年度	平成22年度			
一般行政部門	議会	2	2	0	
	総務	16	16	0	
	税務	5	5	0	
	福祉	20	20	0	
	衛生	0	0	0	
	農林	8	8	0	
	土木	4	4	0	
小計	55	55	0		
特別行政	教育	15	14	△1	司書の退職
	小計	15	14	△1	
公営企業等	水道	2	2	0	
	その他	1	1	0	
	小計	3	3	0	
総合計	73	72	△1		





土砂災害警戒区域指定の 住民説明会について

このたびは北部土木事務所では、大宜味村について、土砂災害防止法に基づく基礎調査(地形調査等)を行い、土砂災害警戒区域を指定することになりました。
つきましては、左記のとおり説明会を開催いたしますのでご案内いたします。
土砂災害警戒区域の指定は、土砂災害のおそれのある区域を地域住民に知らせて、地域住民が土砂災害を警戒し、避難に備えることができるようにしようという目的で行うものです。
何か対策工事を行おうというものではありません。詳細な場所については、各区の公民館に資料を配付しますので、ご確認下さい。(3月2日配布予定)

説明会日時：平成23年3月10日(木)午後7時～8時
場 所：大宜味村農村環境改善センター
(喜如嘉320番地)

説明内容：1 土砂災害と土砂災害防止法
2 警戒区域と特別警戒区域について
3 その他(位置の説明)

問い合わせ

沖縄県北部土木事務所 計画調査班 平良、比嘉
電話 0980-531-2958
FAX 0980-531-5804

国民健康保険被保険者証 更新のお知らせ

3月は国民健康保険証の更新の時期です。
下記の日程で更新を行います。

※保険税の納め忘れはありませんか?納め忘れのある方は更新前に納付してください。

更新期間(平成23年3月10日【木】～平成23年3月15日【火】)

場 所	月 日	時 間
田嘉里公民館	3月10日(木)	09:30～10:30
謝名城公民館	3月10日(木)	10:40～11:40
喜如嘉公民館	3月10日(木)	13:30～15:00
饒波公民館	3月11日(金)	09:30～10:20
大兼久公民館	3月11日(金)	10:30～11:20
大宜味公民館	3月11日(金)	13:30～14:20
根路銘公民館	3月11日(金)	14:30～15:20
上原公民館	3月11日(金)	15:30～16:00
塩屋公民館	3月14日(月)	09:30～11:30
屋古公民館	3月14日(月)	13:30～14:00
田港公民館	3月14日(月)	14:10～14:50
押川公民館	3月14日(月)	15:10～15:40
大保公民館	3月14日(月)	16:00～16:40
江州公民館	3月15日(火)	09:30～10:00
津波公民館	3月15日(火)	10:15～11:45
白浜公民館	3月15日(火)	13:30～14:00
宮城公民館	3月15日(火)	14:10～14:50

※各国民健康保険の加入世帯にはハガキにて通知いたします。
※当日、保険証の更新が出来ない場合は16日以降に役場(住民福祉課)の窓口にて交付します。
※保険証の更新は、どの公民館でも出来ます。

連絡先

大宜味村役場 住民福祉課 国保年金係 宮城、前田
TEL 0980-44-3003

総務課賃金職員募集

総務課では、身体に6級以上の障害がある方を左記のとおり賃金職員として1名募集します。

事務内容：消費者行政相談業務等にかかわる

事務補助

雇用期間：平成23年4月1日から平成24年3月31日
賃金：日額5800円

募集期間：平成23年3月18日(金)まで
応募書類：履歴書・障害者手帳の写し
雇用決定：書類審査による

その他：社会保険有り、その他手当て無し
問い合わせ先：総務課(電話 44-3001)

村史編纂室嘱託員募集

1、募集人員：2名
2、募集期間：平成23年3月7日(月)から14日(月)
午後5時まで

3、申込場所：村史編纂室
4、雇用期間：平成23年4月1日から平成24年3月31日
5、応募資格

- ① 普通自動車運転免許
- ② パソコン操作が十分にできること(表計算、パワーポイント、スキャナ外、各種編集作業)
- ③ 村史編纂に興味があり、個人で県立公文書館、戸別訪問等、村内外で資料収集ができること
- ④ 20才～60才未満の男女

6、提出書類：履歴書、健康診断書
※お問い合わせ 村史編纂室 電話 44-3009

平成23年度からの固定資産税 全期前納報奨金制度の廃止 について

平成22年12月定例議会で村税条例の一部が改正され、平成23年度から固定資産税についての前納報奨金制度を廃止することとなりました。

前納報奨金は戦後の混乱した社会情勢と不安定な経済状況の下で、市町村財政の基盤強化のため税収の早期確保と自主納税意欲の向上を目的に創設されましたが、口座振替制度の普及、金融機関増加による納税の多様化、納税者皆様のご協力により当初の目的は達成されたことや、納めたくても一括納付する資力が不在方には、本制度の恩恵がなく、不公平感が生じていました。さらに、経済情勢にともない村の財政が厳しい状況にあります。

以上の理由により、平成23年度から廃止することになりました。納税者の皆様には税負担の公平性と財源確保のためご理解いただき、今後とも村税の納付にご協力をお願いします。

前納報奨金は平成23年度から廃止になります。納付書又は口座による全期前納（一括前納）については、今までどおり行えます。

尚、口座振替での、全期前納制度をご利用されている方で期別納付に変更される場合は、お手数ですが、左記の大宜味村役場財務課税務係まで連絡下さい。

問い合わせ

沖縄県大宜味村役場 財務課 税務係
電話番号 098014413002

ミカンキジラミの 防除を計画しています。

このたび3月3日、4日に沖縄県とシークワサー振興室ではカンキツグリーニング病の感染源地域となっている集落内において、すべてのゲッキツに寄生するキジラミを樹幹散布で防除します。これによってキジラミの発生数を集落単位で抑える予定です。今回からは地域の理解を得ていただくため各集落の皆様にも参加協力をお願いします。今後は防除効果を確認しながら他の集落にも広げてゆく予定です。

対象集落および実施日

平成23年3月3日(木)：謝名城、大兼久、大宜味、

根路銘、上原、塩屋

3月4日(金)：喜如嘉

ミカンキジラミの防除は新芽の吹く3月、10月が一番効果的です。

第8回 おおぐみ工芸展「いぎみていぐま」

「工芸品展示・即売」

日時：平成23年4月8日(金)～10日(日)

午前10時～午後6時(但し芭蕉布会館は5時まで)

会場：村農村環境改善センターおよび芭蕉布会館

主な工芸品目：陶芸、木工芸、芭蕉布、藍染、漆芸等



お問合せ

いぎみていぐま実行委員会
事務局(代理)

TEL:0980-44-3232

ナスミバエの防除に ご協力をお願いします

ナスミバエが、平成22年12月に沖縄本島で初めて確認されました。お隣の東村でも発生が認められ、大宜味で発生してもおかしくない状況にあります。主にナス科野菜(トウガラシ・ナス・ピーマン・トマト)の果実を食害する防除困難な害虫です。

ナス科野菜を栽培されている方は、防除対策をお願いします。また、被害果実を見つけた場合は、連絡をお願いします。

防除対策、詳しい情報につきましては左記の連絡先まで、お問い合わせをお願いします。

沖縄県北部農林水産振興センター

TEL 098015212752



成虫は7mm程度



トウガラシを食害する幼虫

健康講演「長寿を守り、長寿を活かす」

— 食・農・医の見直しと長寿村の活性化 —

講師：琉球大学観光産業科学部教授 平良 一彦

日時：平成23年3月27日(日)午後3時

場所：大宜味村農村環境改善センターホール(2階)

長年にわたり大宜味村を主たるフィールドに長寿の研究から、沖縄の長寿文化を正しく伝え、広めていくために健康講演を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

問い合わせ：大宜味村住民福祉課健康衛生係
電話 4413003 FAX 4413139

第一回おおぎみ椿まつり

平成25年に北部地域で開催が予定されている全国椿サミット沖縄大会に先がけてのイベントとして、第一回おおぎみ椿まつり(主催:同実行委員会)が2月12・13日の両日、イギミハキンゾー展望台広場を主会場に開催され、2日間で約400名の来場者が訪れました。



ガイドツアーで解説する大宜味つばきの会の山城さん

キの栽培講座や、ツバキのパネル資料展示、ヤブツバキ、ヒメザンカなど多彩なツバキの鉢を並べた展示コーナーが設けられ、訪れた人を楽しませていました。

また、自由に散策道を楽しみたい人向けのフリーツアーや、大宜味の石灰岩の山と森の大切さやすばらしさを、より知ってもらうためのガイドツアーも組まれました。ガイドツアーのコースは、六田山からイギミハキンゾーまでの約3.5kmで、NPO法人つばきの会がメインガイド



来場者の目を楽しませたツバキの展示コーナー

として案内しました。きれいに整備された散策道を歩きながら、各ポイントで立ち止まり、ガイドからはツバキだけでなく、生き物や他の植物といった自然、歴史、文化と多岐に渡った説明が行われ、参加者からは様々な質問が出ていました。ガイドツアーに参加した宮井収さんは「ただ歩くのではなく、木の由来などを説明してもらいながら歩いたので、大変勉強になった」と満足げでした。

まつりを終えて、おおぎみ椿まつり実行委員長の宮城弘さんは「一つのものを生み出すのは大変だったが、成功してよかった。来年は、もっと多くの人に石灰岩の森と山を知ってもらい、来てもらえるように工夫したい」と話しました。

今回のまつりは、NPO法人大宜味つばきの会の呼びかけにより実行委員会が結成され、企画から運営まで行われました。会場では、村農山漁村生活研究会が主体となり、シークワサーを使った料理や、ソーキ汁を販売し協力してまつりを盛り上げました。今、地域が動き出し、「自分たちが村を盛り上げていこう」と村づくりの気運が少しずつ高まっています。

「一字一品運動」で村おこし



山菜の天ぷらを試食する地域住民たち

地域にある無償のものを活用して、根路銘区を活性化させようと同区では吉本隆之さんと、宮城信昭さんの2人が発起人となり「一字一品運動」が展開されています。昨年の12月から取り組みが始まり、身近にある葉っぱに付加価値をつけて商品化にまで結びつけようと毎月第3土曜日に会議が行われています。この取り組みの根底には、若者の定住化による限界集落の回避と、個々人の「生きがい」や「やりがい」のある環境を醸成したいという吉本さんの思いがあります。

新たな参加者を増やし、地域の先輩方からもアドバイスをもらおうと2月15日には、同区のデイサービスの日に合わせて天ぷらパーティーが開かれました。事前にメンバーがオオタニワタリやサワナなど全25種類の山菜を摘み、それらを天ぷらに揚げ、試食と品評を行いました。今回採取した山菜には、普段は食べる機会がないものも多く、試食した人からは「意外性があり、おいしい」と好評を得ていました。「一字一品運動」の女性メンバーである平良政枝さんは「堅苦しい取り組みではなく、楽しみながらやっている。地域にあるものを活かして、「どこでしかないものを生み出したい」と意気込んでいます。

発起人である吉本隆之さんはこの取り組みについて「ただやるだけでなく、情報を形として残し、共有することが大切。まずは根路銘で規準を作りたい。今後、みんなが気軽に入ってもらえるように輪を広げていきたい」と話しました。

村の人口

1月末現在

男	1,722人	(+2)
女	1,636人	(+2)
計	3,358人	(+4)

世帯数 1,638世帯 (-1)

出生	1人	転入	10人
死亡	3人	転出	4人

※注()内数は対前月比

急願のマイクローバス納車

村社会福祉協議会(平良森雄会長)が、平成21年度共同募金配分金による配分事業を活用して購入したマイクローバスが1月24日に納車され、同日24日の大安吉日に合わせて、贈呈式が同社会福祉事務所で行われました。

式には、村三役をはじめ、関係者ら約20名が参加し、バスの到着を祝いました。同社協では、平成19年にマイクローバスが故障して廃車となり、各福祉活動に支障を来していたため、バスの到着を心待ちにしていました。

村社協の平良森雄会長は「赤い羽募金は皆さまの善意から集められたお金であり、多くの方にお礼を申し上げたい。今後は、マイクローバスを社協の活動に活用し、村民のために役立てていきたい」と話しました。

マイクローバスの購入価格6百万円のうち、169万2千円は村社協へ寄せられた寄付金から充てています。



第33回 2011年4月17日(日) 新緑の塩屋湾を走ろう! 塩屋湾一周トリムマラソン大会

★会場	コース			
塩屋小学校スタート・ゴール	スタート	種目	参加資格	制限時間
★申込期間 2月14日(月)～3月18日(金) 消印有効	9:30	5km 湾内折返しコース	小学生以上	1時間15分
★参加料 大人2,000円 小人1,000円(高校生以下)	9:35	9.5km 塩屋湾一周コース	高校生以上	1時間30分
○大会事務局〒905-1392大宜味村字大兼久157番地 大宜味村教育委員会内 塩屋湾一周トリムマラソン大会実行委員会 TEL 0980-44-3006 FAX0980-44-3029	11:00 予定	3km 湾内折返しコース	幼児 (1才以上)	1時間

平成23年度 水質検査計画を策定

水質検査計画とは、今後安全なおいしい水を供給するために、水道水の水質検査地点、検査項目、検査頻度等について検討したものです。なお、この水質検査計画については、水質の状況について次年度以降に見直しを行い、より一層安全で安心した水質管理を行っていくものです。この水質検査計画の公表方法は、大宜味村役場建設環境課と各公民館での閲覧となっております。

お問い合わせ先
大宜味村役場建設環境課水道係
TEL 0980-44-13280

3月 3 March April 3月1日～4月10日

大宜味村カレンダー



1 火	◆新1年生体験入学(大小)	22 火	
2 水	◆区長会 ◆お別れ遠足(塩屋保育所) ◆新1年生体験入学(喜如嘉・塩屋小学校)	23 水	◆小学校卒業式
3 木	◆村生徒指導連絡協議会 ◆新1年生体験入学(津波小) ひなまつり	24 木	◆小中学校修了式 ◆4小学校離任式
4 金	◆お別れ遠足(喜如嘉保育所) ◆大宜味村浄化センター通水記念式典・祝賀会	25 金	◆村道「結の浜線」開通式・「結橋」渡り初め記念式典
5 土		26 土	
6 日	◆村PTA6年生激励会	27 日	◆健康講演「長寿を守り、長寿を活かす」
7 月		28 月	◆大宜味中離任式
8 火	◆県立高校入試(9日まで)	29 火	
9 水		30 水	◆ほのぼのパーティー(喜如嘉・塩屋保育所)
10 木	◆大宜味中学校振替休日	31 木	
11 金		4月 April	
12 土	◆大宜味中学校卒業式 ◆大保ダム竣工式	1 金	◆区長会 ◆村交通安全総会
13 日		2 土	
14 月		3 日	
15 火	◆県立高校入試合格発表	4 月	◆学校教職員辞令交付式 ◆新任学校教員村内めぐり
16 水		5 火	
17 木		6 水	
18 金	◆幼稚園終了式	7 木	◆始業式 ◆中学校入学式
19 土		8 金	◆小学校入学式
20 日	家庭の日	9 土	
21 月	春分の日	10 日	

※このカレンダーは予定ですので、都合により変更されることがあります。各業務については電話等で確認してください。

村内あれこれ



そば 大宜味村産和蕎麦デビュー



耕作放棄地を利用して生産が始まった大宜味村産日本蕎麦が1月に収穫され、同月29日から村内のねろめ食堂で日本一早い新蕎麦として、毎週土日限定で販売されています。そば粉10割りが魅力で、独特の食感とそば本来の香りが楽しめるかと評判です。店長の大城吉範さんは、「大宜味はそば粉10割りにこだわっている。その方が香りと食感を楽しめる。」と胸を張ります。同店では、蕎麦の実で作ったシフォンケーキも同時に販売されています。

地域ふれあいコンサート



デイサービスおおぎみの5周年を記念して「第2回地域ふれあいコンサート 嘉手納ミュージックinおおぎみ」(主催 デイサービスおおぎみ)が2月13日、村農村環境改善センターで開かれ、村内外から約300名の観客が詰め掛けました。

古謝美佐子さんをはじめ、5組が出演し、時おり曲に合わせて手拍子が沸き起こるなど、温かな雰囲気にもまれてのコンサートとなりました。

主催者であり、自らもおおぎみバンドとして出演した山川勇さんは「デイサービスは地域あつてのもの。みんなが喜んでくれたことがうれしい」と笑顔を見せました。

ヤマシッ子生活発表会



「第34回ヤマシッ子生活発表会」が1月29日、塩屋保育所で行われ、子ども達の元気な姿を見ようと両親や地域住民が駆けつけました。子どもたちは、生活遊びや、リズム遊び、表現遊びなど各年齢に分かれて表現活動を行い、舞台と観客席が一体となってみんな楽しんでひと時を過ごしていました。

キラリ おおぎみ

NPO法人大宜味つばきの会



大宜味村をツバキの里にし、観光や産業に結びつけ、村を活性化させたい。そんな思いで平成13年、定年退職世代の5人が中心となり、愛好会として「大宜味ツバキの会」が発足した。平成16年には、NPO法人にも認定され、現在では会員数も約55名を数える。

会はこれまで、ツバキの普及拡大に向けての調査をはじめ、育苗・植栽を通してツバキの保護に力を注いできた。これまでに植栽したツバキの本数は1万本近くに及ぶという。また、ツバキだけでなく、大宜味の山全体を見てもらいたいとガイドマップをまとめ、散策のガイドなども行っている。現在は、地域活性化を視野に防風林としてのツバキの活用や、ツバキの幹を使った木炭作り、ツバキの種を油として取り出し、健康にいいツバキ油を大宜味村の特産物として売り出すなど様々なアイデアを練っているが、それには課題もある。同会は「防風林などに活用するには、たくさんの苗木が必要になる。植えるのは簡単だが、人手がないと草取りなどの育養管理が難しい。植樹祭なども実施しているが、その点を村民にも理解して欲しい」と強調する。

ツバキの持つ多様な魅力に惹かれ、ツバキを活かしたいという思いを共にするメンバーは、2年後に迫った全国椿サミット沖縄大会に向けて、「全国の椿ファンを沖縄に呼び、大宜味ツバキをはじめ、大宜味村のことを知ってもらいたい」と意気込んでいる。

ぶながや生活発表会



1年の保育をまとめて発表する「第30回ぶながや生活発表会」が2月5日、喜如嘉保育所で行われ、両親や地域住民が駆けつけました。今年のぶながや発表会では、全7演目が披露され、中でも謝名城に伝わる昔話をアレンジしたという「大石の前とぶながや」は、保育士と子ども達が力を合わせて完成させた力作の児童劇となっており、観る人を楽しませていました。